

度新潟大学プロジェクト推進経費, 若手研究者奨励研究, 計 800 千円.

- 7) 研究代表者 藤田 一: 口腔多発癌における免疫関連遺伝子多型を用いた有用な疾患感受性マーカーの選定. 平成 17 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 若手研究者奨励研究, 計 931 千円.

【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 永田昌毅: FGF2 含浸ゼラチンハイドロゲルによる歯槽骨再生現象と分子生物学的機序の解明. 平成 15-16 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号 16591986, 2006 年 3 月.

【学会賞受賞】

- 1) 藤田 一, 永田昌毅, 星名秀行, 西澤理史歩, 高木律男, 吉江弘正: 口腔扁平苔癬におけるサイトカイン遺伝子 8 種類の SNP 分析. 第 50 回日本口腔外科学会総会, 大阪市. 日本口腔外科学会総会ゴールドリボン賞. 2005 年 10 月 25 日

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) Yamada K, Tsuruta A, Hosogai A, Kohno S, Hayashi T, Hanada K: Condylar bone change and sagittal incisal and condylar paths during mandibular protrusive excursion. J Craniomandibular Practice, 23(3):179-187, 2005.
- 2) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. Int J Prosthodont 19(1): 40-42, 2006.
- 3) 大山喬史, 河野正司, 小林 博, 古谷野潔, 野首孝祠, 馬場一美: 咀嚼能力検査法のガイドライン. 日本歯科医学会誌, 24: 39-50, 2005.
- 4) 本間 濟: 食塊形成能を考慮した補綴治療評価法の開発. 日本顎口腔機能学会雑誌, 12 (1): 50-51, 2005.
- 5) 本間 濟, 河野正司: 咀嚼回数をを用いた補綴治療効果の評価. 新潟歯学会誌, 35 (1): 63-65, 2005.
- 6) 櫻井直樹, 河野正司, 小林 博, 鈴木一郎, 八木 稔, 宮崎秀夫, 野村修一, 林 孝文, 山田一尋, 星名秀行, 高木律男, 寺田員人, 荒井良明, 本間濟: ネットワークを活用した顎関節症患者遠隔診断支援システム構築のための予備的調査. 新潟歯学会雑誌, 35 (1): 29-39, 2005.
- 7) 本間和代, 河野正司, 本間 濟, 櫻井直樹: 自由

咀嚼と片側咀嚼の機能的差異の検討. 日本補綴歯科学会雑誌, 49 (3): 459-468, 2005.

- 8) 伊藤圭一, 野村章子, 丸山 満, 本田岳史, 高見大介, 山田一穂: 使用義歯と技工用シリコン印象材を応用した研究用模型と個人トレー製作法の紹介. 日本歯科技工学会雑誌, 26 (2): 194, 2005.

【著書】

- 1) 河野正司(分担執筆): 歯と噛み合わせ, 食感創造ハンドブック(編集 西成勝好他). 43-48 頁, サイエンス フォーラム社, 東京, 2005.
- 2) 河野正司: 咀嚼・唾液・義歯の関連 - よく噛むと唾液がでる/唾液が出るから食べられる -, 唾液による健康づくり - 明日からの臨床に取り組む - (編集: 下野正基, 奥田克爾), 日本歯科評論 増刊 2005. 141-148 頁, 日本歯科評論社, 東京, 2005.
- 3) 河野正司(共著): コンプリートデンチャーテクニク 第 5 版(編集: 細井紀雄ら). 1-205 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 4) 河野正司(共著): 下顎運動の記録と咬合器装着, 無歯顎補綴治療学(編集: 細井紀雄, 平井敏博). 156-172 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 5) 小林 博: 筋活動/筋力比, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 19-21 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 6) 小林 博: 咀嚼筋や胸鎖乳突筋の自発放電量よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 67-68 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 7) 河野正司: 頭部運動, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 83-85 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 8) 本間 濟, 河野正司: 煎餅, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 143-144 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.
- 9) 澤田宏二: 白歯ガイドンス, よくわかる顎口腔機能 - 咀嚼・嚥下・発音を診査・診断する - (日本顎口腔機能学会編). 212-214 頁, 医歯薬出版, 東京, 2005.

【商業誌】

- 1) 河野正司: 咀嚼・唾液・義歯の関連 - よく噛むと唾液が出る! 唾液が出るから食べられる -. 日本歯科評論増刊, 1-8, 2005.

【研究成果報告書】

- 1) 河野正司, 林 豊彦, 遠藤直人, 江尻貞一, 山田一尋, 中村康雄, 田中みか子, 細貝暁子: 下顎運動に伴う頭部運動と身体動揺を指標とした咬合と全身機能との関連の解明. 平成 15-17 年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(2)(継続), 課題番号 15209067, 2005 年.
- 2) 田中みか子, 河野正司, 江尻貞一, 中島貴子, 澤田宏二, 全身的骨粗鬆症と歯槽骨骨梁構造変化との関連性 - サル顎骨を用いた基礎的研究からヒト顎骨における検証へ -. 平成 15-17 年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(C)(2)(継続), 課題番号 16591938, 2005 年.
- 3) 河野正司, 田中みか子, 江尻貞一, 小林 博, 山田一穂, 小笠原正卓: インプラント植立予後推定のためのヒト歯槽骨の組織形態計測データベース構築の試み. 平成 17-18 年度科学研究費補助金 萌芽研究, 課題番号 17659608, 2005 年.
- 4) 櫻井直樹, 河野正司, 小林 博, 林 孝文, 山田一尋, 鈴木一郎, 八木 稔, 野村修一: ネットワークを活用した顎関節症, 咀嚼・嚥下障害患者の総合的診断支援システム構築. 平成 16-19 年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続), 課題番号 16390552, 2005 年.
- 5) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 鈴木一郎, 八木 稔, 小林 博, 星名秀行, 寺田員人: 情報の暗号化を伴うネットワークを活用した顎関節症患者の遠隔診断支援システム構築. 平成 15-17 年度研科学研究補助金 萌芽研究(継続) 課題番号 15659462, 2005 年.
- 6) 金田 恒: 短縮歯列への補綴的修復治療 - その種類別臨床効果と選択基準 -. 平成 15-17 年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(継続), 課題番号 15791119, 2005 年.
- 7) 細貝暁子: 顎関節症者の下顎頭骨形態変化の発症機構を下顎運動論と咬合論から解明する. 平成 17-19 年度科学研究費補助金 若手研究B(新規), 課題番号 17791382, 2005 年.
- 8) 山田一尋, 斎藤 功, 小林 博, 細貝暁子: 骨格性下顎骨偏位症の下顎運動に伴う頭部運動, 身体動揺と全身機能の関連の解明. 平成 16-18 年度科学研究補助金 基盤研究(C) 課題番号 17592134, 2005 年.
- 9) 五十嵐順正, 野首孝祠, 河野正司, 大山喬史, 赤川安正, 石上友彦, 山下秀一郎: 欠損歯列における補綴介入および「短縮歯列」処置に関するマルチセンター・リサーチ. 平成 17 年度科学研究補助金(基盤研究(A)(1)), 課題番号 16209058, 2005 年.
- 10) 山田一穂: 研究成果報告書, インプラント(人工歯

根) 植立部位の術前骨質検査の確立, 平成 17 年度新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2005 年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 河野正司: 咀嚼回数を指標とした補綴治療の評価, チェアサイドでの咀嚼機能検査法. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 15 日, 補綴誌 49(113 回特別号), 46 頁, 2005 年.
- 2) 河野正司(座長), 榎本紘昭, 下地 勲, 井上 孝, 渡邊文彦, 澤田宏二: 支台歯をふやすストラテジー - (歯の)移植とインプラント - 遊離端欠損症例を中間欠損状態に変化させるために. 第 114 回日本補綴歯科学会学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1 日, 補綴誌 49(114 回特別号), 38・40 頁, 2005 年.
- 3) 本間 濟: 食塊形成能を考慮した補綴治療評価法の開発. 日本顎口腔機能学会第 34 回学術大会, 徳島, 2005 年 4 月 17 日, 日本顎口腔機能学会雑誌第 34 回学術大会プログラム・事前抄録集, 14-15 頁, 2005 年.
- 4) 澤田宏二: 総義歯印象のヒント. 平成 17 年度三島郡歯科医師会学術講演会, 寺泊町文化センター, 2005 年 10 月 22 日, 2005 年.

【学会発表】

- 1) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. The 11th meeting of the international college of prosthodontists, Greece, 2005-5-26, Program page 185, 2005.
- 2) 本間 濟, 河野正司, 櫻井直樹, 小林 博: 食塊形成能を考慮した義歯装着効果の評価. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 14 日, 補綴誌 49(113 回特別号), 51 頁, 2005 年.
- 3) 丸山 満, 河野正司, 澤田宏二, 本間 濟, 根岸政明: 実験的に付与したリンガライズドオクルージョンの食物動態について. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 14 日, 補綴誌 49(113 回特別号), 76 頁, 2005 年.
- 4) 甲斐朝子, 河野正司, 金城篤史, 竹内聡史: 下顎タッピング運動時に観察される頭部運動のタイミング. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 14 日, 補綴誌 49(113 回特別号), 112 頁, 2005 年.
- 5) 田島 卓, 河野正司, 細貝暁子, 竹内聡史: 作業側下顎頭運動限界域と咀嚼運動経路の関係について. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005

- 年5月14日,補綴誌49(113回特別号),113頁,2005年.
- 6) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Stress around a dental implant in a model that simulates bone to the trabecular level. 第113回日本補綴歯科学会学術大会,2005年5月15日,大阪,補綴誌49(113回特別号),201頁,2005年.
- 7) 田中みか子,渡邊直子,河野正司,リズワナ・ビンテ・アンワール,アリ・ミル・ノワゼシュ,江尻貞一: 卵巣摘出サルの下顎底皮質骨内に認められる管腔構造の解析. 第25回日本骨形態計測学会&骨強度測定に関する国際シンポジウム,東京,2005年6月19日,日骨形態誌15(2),95頁,2005年.
- 8) 丸山 満,河野正司,澤田宏二,本間 済,根岸政明: 実験的に付与したリングライズドオクルージョンの食物動態評価. 平成17年度 新潟歯学会第1回例会,新潟,2005年7月9日,同学会プログラム・事前抄録,18頁,2004年.
- 9) 伊藤圭一,野村章子,丸山 満,本田岳史,高見大介,山田一穂: 使用義歯と技工用シリコーン印象材を応用した研究用模型と個人トレー製作法の紹介. 日本歯科技工学会第27回学術大会,東京,2005年9月18~19日,同学会プログラム・講演内容抄録,92頁,2005年.
- 10) 田島卓,河野正司,細貝暁子,甲斐朝子: 下顎頭の運動限界野と咀嚼運動経路. 第114回日本補綴歯科学会学術大会,新潟,2005年10月1日,補綴誌49(114回特別号),55頁,2005年.
- 11) 金城篤史,河野正司,細貝暁子,小笠原正卓,竹内聡史,甲斐朝子: 下顎運動に伴う頭部運動と体幹動揺の同時測定,第114回日本補綴歯科学会学術大会,新潟,2005年10月1日,補綴誌49(114回特別号)62頁,2005年.
- 12) Ho-Rim Lee, Kaneda K, Rupp F, Celinski A, Woo Y-H, Geis-Gerstorfer: Initial Hydrophilicity of Current 5 PVS Lining Materials During Setting. 第114回日本補綴歯科学会学術大会 新潟,2005年10月1~2日,補綴誌49(114回特別号),92頁,2005年.
- 13) 竹内聡史,河野正司,細貝暁子,金城篤史,甲斐朝子: 立位と座位における下顎運動に伴う体幹動揺の同時記録. 第114回日本補綴歯科学会学術大会,新潟,2005年10月1~2日,補綴誌49(114回特別号),125頁,2005年.
- 14) 藤井芳仁,河野正司,林 豊彦,本蔵義信,竹内聡史,甲斐朝子: 磁気センサーを用いた咬合高径測定装置の開発. 第114回日本補綴歯科学会学術大会 新潟,2005年10月1日,補綴誌49(114回特別号),126頁,2005年.
- 15) 田中みか子,リズワナ・ビンテ・アンワール,山田一穂,河野正司,江尻貞一: 卵巣摘出サルの下顎下縁皮質骨内部の管腔構造について. 第114回日本補綴歯科学会学術大会,2005年10月1日,新潟,補綴誌50(114回特別号),164頁,2005年.
- 16) 細貝暁子: 側方滑走運動時の3次元TMJ骨関節隙量の様相. 第64回日本矯正歯科学会大会,横浜,2005年10月12~13日,同学会プログラム・抄録集,258頁,2005年.
- 17) 子田 浩,河野正司,細貝暁子,田島 卓: アンテリアガイダンスの違いが下顎後退位に与える影響. 平成17年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2005年11月5日,同学会抄録集,17頁,2005年.
- 18) 竹内聡史,河野正司,細貝暁子,小笠原正卓,金城篤史,甲斐朝子: 体幹の異なる測定状態変化における下顎運動に伴う体幹動揺の同時記録,日本補綴歯科学会関東支部学術大会,群馬,2006年1月21日,日本補綴歯科学会関東支部プログラム・抄録集11頁,2006年.
- 19) 藤井芳仁,河野正司,林 豊彦,本蔵義信,竹内聡史: 磁気センサーを用いた上下の下顎位測定装置の開発,日本補綴歯科学会関東支部総会ならびに学術大会,群馬,2006年1月21日,日本補綴歯科学会関東支部プログラム・抄録集12頁,2006年.
- 20) 星名秀行,荒井良明,佐藤孝弘,櫻井直樹,青柳貴之,藤田 一,高木律男: 放射線療法後に腭骨・インプラント義歯により咬合再建を行った口腔癌2例. 第24回日本口腔腫瘍学会総会,北九州市,2006年1月26~27日,同学会抄録集,119頁,2006年.
- 21) 田中みか子,リズワナ・ビンテ・アンワール,河野正司,江尻貞一: 卵巣摘出サルの下顎底皮質骨内に認められる管腔構造に冠する組織形態計測学的研究. 2006年3月5日,名古屋,第4回日本歯科骨粗鬆症研究会学術大会,抄録集43頁,2006年.
- 22) 田口 明,浅野 晃,大塚昌彦,中元 宗,末井良和,津田幹夫,工藤美樹,金村 直子,田中みか子,河奈裕正,内藤 徹,中川種昭,力丸哲也,古市保志,関 健次,岡野友宏,山本松男,稲垣幸司,野口俊英,谷本啓二: パノラマX線写真による骨粗鬆症スクリーニングに関する多国間国際共同研究; 観察者の診断能力について. 2006年3月5日,名古屋,第4回日本歯科骨粗鬆症研究会学術大会,抄録集38頁,2006年.

【受賞】

- 1) 田中みか子,渡邊直子,江尻貞一: エストロゲン欠

- 乏による歯槽骨骨梁構造および固有歯槽骨の脆弱化に関する基礎的検討．平成 17 年度日本骨粗鬆症学会研究奨励賞，2005.
- 2) 田中みか子：卵巣摘出サルの下顎底皮質骨内に認められる管腔構造の解析．平成 17 年度日本骨形態計測学会学会賞，2005.
- 3) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Stress around a dental implant in a model that simulates bone to the trabecular level. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会，デンツブライ賞，2005.
- 4) 藤井芳仁，河野正司，林 豊彦，本蔵義信，竹内聡史，甲斐朝子：磁気センサーを用いた咬合高径測定装置の開発．第 114 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツブライ賞，2005 .
- 5) 121-125, 2005.
- 4) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. *Int. J. Prosthodont.*, 19(1): 40-42, 2006.
- 5) 内田嘉壽子，寺田員人，北村絵里子，朝日藤寿一，齋藤 功：リハビリメイクの精神心理学的効果についての研究．新潟歯学会誌，35 (1):19-28,2005.
- 6) 櫻井直樹，河野正司，小林 博，鈴木一郎，八木 稔，宮崎秀夫，野村修一，林 孝文，山田一尋，星名秀行，高木律男，寺田員人，荒井良明，本間 濟：ネットワークを活用した顎関節症患者遠隔診断支援システム構築のための予備的調査．新潟歯学会誌，35 (1):29-39,2005.
- 7) 右近さゆり，佐藤真理，石井結里，小林富佐子，村山昌子，柴田佐都子，豊里 晃，野村修一：介護者に口腔ケア意識を啓発するためのパンフレット - 介護者の理解と活用状況のアンケート - . 新潟歯学会誌，35 (2):9-15,2005.
- 8) 佐川敦子，澤山 茂，五十嵐敦子，野村修一，飯田文子，山口静子：若年者と高齢者の甘味嗜好における性差の比較．日本味と匂学会誌，12 (3):361-364,2005.
- 9) 豊里 晃，山下 庸，野村修一：筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者における吸引力カテーテルの口腔内保持装置．障歯誌，26:277-279,2005.
- 10) 伊藤加代子，浅妻真澄，渡部 守，竹石英之，五十嵐敦子，野村修一：口腔乾燥感を有する患者に対する保湿剤 (ウェットケア) の効果．老年歯学，20,63 - 67,2005.

【その他】

- 1) 櫻井直樹：応急処置から新製までの補綴治療について．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 7 月 6 日，2005 年 .
- 2) 田中みか子：可撤性部分床義歯のメンテナンスについて．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 7 月 20 日，2005 年 .
- 3) 澤田宏二：義歯咬合採得のポイント．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 11 月 2 日，2005 年 .
- 4) 澤田宏二：義歯設計の押さえどころ．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2006 年 2 月 15 日，2005 年 .

加齢歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Kitamura E, Stegaroiu R, Nomura S, Miyakawa O: Influence of marginal bone resorption on stress around an implant - A three-dimensional finite element analysis -. *J Oral Rehabil.*, 32(4): 279-286, 2005.
- 2) Taguchi Y, Amizuka N, Nakadate M, Ohnishi H, Fujii N, Oda K, Nomura S, Maeda T : A histological evaluation for guided bone regeneration induced by collagenous membrane. *Biomaterials*, 26 (31): 6158-6166, 2005.
- 3) Watanabe M, Asatsuma M, Ikui A, Ikeda M, Yamada Y, Nomura S, Igarashi A: measurements of several metallic elements and matrix metalloproteinases (MMPs) in saliva from patients with taste disorder. *Chemical Senses*, 30(2):

【商業誌】

- 1) 野村修一，豊里 晃，野村章子：ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能評価システム．歯界展望特別号，251,2005 年 .
- 2) 伊藤加代子，野村修一：在宅難病患者さんのドライマウス対応．難病と在宅ケア，11 (8): 41-43,2005 年 .
- 3) 野村修一：歯科金属アレルギーの診断と治療．日歯医師会誌，58 (7): 698，2005 年 .
- 4) 山野井敬彦，大川成剛，野村修一，熊倉喜久夫，田中正信，木村修平：IC タグの歯科への応用 - 第 1 報 歯科技工物の管理について - . 歯科技工，34 (3): 320-323, 2006 年

【研究成果報告】

- 1) Stegaroiu Roxana: インプラント・骨の界面における全面吸収を予測する三次元有限要素モデルの追